

## 【日頃からの準備】

お住まいの地域の「土砂災害ハザードマップ」により、自宅や近くの避難所までの道が土砂災害警戒区域（イエローゾーン）または特別警戒区域（レッドゾーン）に入っているか確認した上で、**災害発生の恐れがある場合に、どのタイミングで、どこに、どのように避難するかを、家族やご近所の方と話し合い、あらかじめ決めておきましょう。**

その際には、4月に全戸配布した冊子「東京マイ・タイムライン」をぜひ活用してください。

また、いつでも素早く避難できるよう、非常持ち出し品をまとめて用意しておくことも大切です。

## 9月4日（日）総合防災訓練の日

### ～今回は台風の接近を想定した風水害訓練を実施します～

毎年、総合防災訓練は大地震を想定した震災訓練を行っていますが、近年、全国的に大雨や土砂災害など風水害の発生件数が増えており、奥多摩町でも令和元年東日本台風により大きな被害を受けたことから、今後、総合防災訓練は震災訓練と風水害訓練を隔年で交互に実施します。

**今年の総合防災訓練では、台風の接近を想定した風水害訓練を行います。**

**当日、午前7時30分に「高齢者等避難」、8時00分に「避難指示」発令の合図を防災行政無線で行います。**

【町民のみなさんへ】

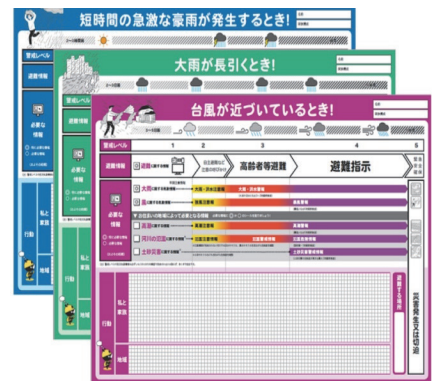
訓練前日までに、ご家庭内でつぎの訓練を行ってください。

- ①非常用持ち出し品の点検
- ②ハザードマップの確認
- ③「東京マイ・タイムライン」を活用した災害発生時の避難方法の検討

訓練当日は、防災行政無線による避難情報発令合図により、自治会の訓練計画に沿って避難訓練を行ってください。

※問い合わせは、総務課 ☎ 83-2349

《東京マイ・タイムライン》



## “ごみを減らす10アクション”（3R：スリーアールへの取組）

8月号は、7月号で紹介したリユースの2回目となります。リユースとは、“くり返し使う”ことです。3R「リデュース（ごみの発生・資源の消費をもとから減らす）・リユース（くり返し使う）・リサイクル（資源とし再び利用する）」のうち、リデュースに次いで重要な取り組みです。

個人が手軽に行えるリユースとしては、「リユース可能な商品を選ぶ」ことです。

リユース可能な商品はいろいろありますが、マイカップ・マイボトル、リターナブルびんに入った飲料、詰め替えボトル用に販売している洗剤やシャンプー、何度も使えるショッピングバッグなどが代表例です。こうした商品を選ぶことは、リユース以外にも新しい容器や袋の製造に使う天然資源の量も減らせることから、リデュースにもつながります。

リユース商品を積極的に使用し、ごみの減量と環境負荷のかからない生活を心がけましょう！

※問い合わせは、環境整備課（クリーンセンター） ☎ 83-2110